

# 日本共産党、比例で原発問題の専門家、藤野議員の議席を死守 小選挙区では市民と野党の統一実現したものの一歩及ばず

10月22日、総選挙が投票開票され、激しかった闘いの幕が下ろされました。

この選挙で日本共産党上越地区委員会が、小選挙区では昨年の参

院新潟選挙区選挙からの市民と野党の共闘を重視し、梅谷守候補（元県議）を国会に送るため全力



## 上越市における日本共産党の比例得票、得票率の動き

2017年衆院選比例	6,949 (6.5%)
2014年衆院選比例	7,238 (8.0%)
2012年衆院選比例	4,848 (4.8%)

## 新潟6区市町別得票及び得票率 ( )内数値は得票率

	うめたに守	高鳥修一
上越市	56,353 (53.6%)	48,788 (46.4%)
糸魚川市	9,808 (37.7%)	16,198 (62.3%)
妙高市	8,748 (49.8%)	8,833 (50.2%)
十日町市	14,420 (45.7%)	17,133 (54.3%)
津南町	2,751 (45.2%)	3,340 (54.8%)
合計	92,080 (49.4%)	94,292 (50.6%)

## 上越市長選の結果

村山秀幸 (現)	52,609 (50.7%)
中川幹太 (新)	51,147 (49.3%)

をあげました。また、北陸信越ブルックの比例代表では、藤野保史前議員の議席を確保し、さらにもう1議席獲得することを目標に頑張りました。

選挙の結果、小選挙区では、梅谷候補が自民党の高鳥修一候補にあと2212票と迫る大健闘。比例代表では原発問題の専門家、藤野保史氏(写真、マイクを手に)の議

席を死守することができました。この結果について日本共産党の上野公悦上越地区委員長は、「梅谷候補は一歩及ばなかったが、よく頑張ってくれた。市民と野党の統一した力の発揮によるものだ。比例では、柏崎刈羽原発の再稼働が画策されているなかで原発問題

の専門家である藤野議員の議席を死守できた。日本共産党と梅谷候補を応援してください。みなさんに心から感謝申し上げたい」との談話を発表しました。

新潟方式を全国に広め、安倍内閣の暴走ストップを

新潟県内では、1区から4区まで野党系候補が勝利し、5区では前知事にもう少しのところまで迫り、6区でも自民候補と僅差でした。こうした結果を新潟日報は「自民敗北」「新潟シヨック再び」と書きました。市民と野党が統一して頑張る新潟方式を全国に

22日は市長選の投票日でもありました。現職の村山秀幸氏に新人で元市議の中川幹太氏が挑戦するたたかいとなりました。結果は新人の中川幹太氏が村山氏に1462票と迫る大激戦となりました。

## 村山、中川両氏 互角の闘い：市長選

日本共産党は、総選挙で全体としては議席を大きく減らしたことから、地力をもっとつけ、次の国政選挙では必ず捲土重来を期す決意です。今後ともよろしくお願ひします。

広がることができれば、暴走を続ける安倍内閣とその補完勢力に打ち勝つときがそう遅くない時期にやってくると思います。



【ウメバチソウ】ウメバチソウ属の多年草。漢字で「梅鉢草」と書きます。花は梅に似ていますが、写真の花は終わりに近く、傷んでいます。雨に打たれた姿は痛々しい感じがしました。23日、撮影。場所は秘密です。

村山、中川両氏が互角のたたかいはしたということ、これまでの村山市政に対する有権者の厳しい批判があったということ、オーレンプラザ(仮称時は厚生産業会館)建設のように民意を無視したり、軽視する市政運営は二度とやってはなりません。私たちも厳しく監視していきます。

# はしづめ法一の活動レポート

**No.1830 2017.10.29**  
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
 Tel 025-548-3628  
 通じないときは 090-5392-1961  
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp  
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ  
 「ホーセの見  
 てある記」は  
 ← こちら

橋爪法一 検索



# 春よ来い

## 第四七八回

### 赤とんぼ（その2）

「あれっ」と思ったのは水曜日の朝七時過ぎ、私の地元事務所前で軽乗用車に乗り込んだときでした。車のフロントガラスの内側で赤とんぼが飛んでいたのです。それも右に左にと、ガラスにぶつかりながら。赤とんぼが私の車に入ってきたのは前日でした。たぶん、私がセンブリの花の写真を撮っていたときだと思います。強い台風がやってきた翌日の夕方のことでした。「たぶん」と書いたのは、車の窓を開けたのはその時だったからです。

センブリの花を撮ってから、地元の写真家の平田さんと偶然出会いました。平田さんと会うと、いつも写真のことで話が盛り上がり、このときも、平田さんが松之山のブナ林で撮影していて、デジタルカメラを濡らしてしまったという話を聞いた。私から野の花の話を出したりして、時間が経つのを忘れそうになりました。

平田さんと別れて、再び車に乗り込んだとき、一匹の赤とんぼが運転席の前の方で飛び回っていました。フロントガラスの内側だけでなく、何と、外側でも数匹の赤とんぼが飛び交っているじゃありませんか。私は両方の赤とんぼを写真に収めたいと思いいカメラを向けたのですが、なかなかうまくいきませんでした。

この日は台風が過ぎ去って青空が広がり、気温も上昇していました。そのせいでしようか、どこへ行っても赤とんぼの姿を見ることができました。

一番多くの赤とんぼを見たのは、私の地元事務所周辺でした。なかでも事務所の西側の下見板、その下の基礎コンクリートがすごかった。数十匹、ひよつとするとともにいたかも知れませんが、下見板などに張り付くようにしてとまっていたのです。赤とんぼたちは明らかに日向ぼっこを楽

しんでいました。人が近づいたり、近くの市道を車が通り過ぎたりすると、パツと下見やコンクリートから離れるのですが、それから一、二分後には再び張り付きます。暖かくて気持ちがいいのでしよう。

赤とんぼの様子を見ながら私は、自分の気持ち何となくやさしく、おだやかになっていくのを感じました。夕日が建物や大地などを暖めていて、そこをたくさんの赤とんぼが羽をキラキラさせながら飛んでいる。下見板などにびたりと体をくっつけているものもたくさんいる。この光景は子ども達の頃、何度も見してきました。見ているだけで妙に懐かしく、うれしくなります。不思議ですね。

水曜日の朝、私は五時過ぎから新聞配達に出かけました。六時頃になれば、明るくなってきましたから、その前に車の中の赤とんぼに気づいてもよさそうなのですが、実際は目に入りませんでした。たぶん、運転席左前にあるバックミラーの裏側に姿を隠していたのだと思います。

新聞配達が終わってから事務所までデスクワークをして、その後、浦川原へと車を走らせようとした段階で、車内にまだ赤とんぼがいることに気づきました。赤とんぼは前日からずっと車の中にいたのです。もちろん配達するときも。車の中は暖房をきかせていて、暖かい空間となっていました。窓を開けても出ようとはしませんでした。

赤とんぼが車の外に出たのは浦川原での用事が済んで、朔日峠まで行ってから。運転席の窓を開けたら、手前にいた赤とんぼはフロントガラスに何度かぶつかり、その後、ちよこんと私の右腕にとまり、外へと飛び立ちました。赤とんぼにとっては泊二日の旅でした。いまごろ、仲間たちに旅の話をしているかも知れませんが、

山できなくなっていました。現場では土砂の撤去作業が始まっていました。作業員の他、県の職員さんたちも来ておられました。住民要望が寄せられたところについては直ちに関係総合事務所などにつなぎました。市のまとめによると、今回の台風による被害は、住家の一部損壊が11件、床上浸水1件、床下浸水28件、道路や水路などの被害は388件にもなりました。下の写真は安塚区坊金と大島区菖蒲の災害現場です。



## 台風21号の道路・水路等被害、市内全域で388件

すごい雨でした。台風21号による雨、降り始めからの降水量は桑取・谷浜区土口で319<sup>ミリ</sup>、名立区平谷で280<sup>ミリ</sup>、大島区菖蒲で230<sup>ミリ</sup>、柿崎区北黒岩で226<sup>ミリ</sup>（いずれも24日午前8

時までの累計）も降りました。しかも強い風を伴いました。

この台風の影響で市内では6万4591人に「避難勧告」「避難指示」などの避難情報が出され、指定避難所に避難された方は231人に、福祉避難所に避難された方は2人になりました。

日本共産党議員団は避難情報が出されてから、4人が分担して市内各地の被害状況調査、避難所訪問等の活動を展開しました。

私は吉川区、柿崎区、大島区、安塚区、浦川原区、頸城区、保倉区などをまわりました。安塚区坊金では民家の裏山が崩れていました。山の上の方には荒れた田があるとかで、そこが引き金になった可能性があります。すでに消防団の人たちが来ていて、状況確認をしているところでした。大島区菖蒲では前夜、高原にあるベルハウスに宿泊したお客さん3人と管理人が県道への土砂崩れによって下

### 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16 $\mu$ Sv(マイクロシーベルト)だとのことです。

	10月17日(火)	10月25日(水)
上越南消防署	0.047	0.043
上越北消防署	0.043	0.057
新井消防署	0.047	0.050
頸北消防署	0.050	0.053
頸南消防署	0.050	0.060
東頸消防署	0.047	0.043
高士分遣所	0.043	0.050
名立分遣所	0.057	0.050